

登録コード	HM125901	開講年度	2026				
授業題目	遺伝医学・予防医学論文演習					担当教員	稲葉 雄二
英文授業名	Thesis Seminar in Medical Genetics and Preventive Medicine					副担当	古庄 知己・長崎 啓祐
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					遺伝医学・小児・周産期・成育医学研究論文の構造を理解し、自ら執筆できるようになる	
(2)詳細/Detailed information	遺伝医学・小児・周産期・成育医学研究論文の構成と作成方法を理解し、自ら執筆する基礎力をつけることを目的とする。						
(3)授業の概要/Overview of course	(概要) 遺伝医学・小児・周産期・成育医学研究論文の検索法、読解法、執筆法を学ぶ。 (稲葉雄二) 発達ならびに小児・周産期・成育医療領域を対象にした、医学研究論文に関する指導を行う。 (古庄知己) 小児・周産期・臨床遺伝領域を対象にした、臨床遺伝学的研究論文に関する指導を行う。 (長崎啓祐) 成長ならびに小児・周産期・成育医療領域を対象にした、医学研究論文に関する指導を行う。						
(4)授業計画/Course plan	前半で研究論文の構成と作成方法を学び、後半で実際に執筆し指導を受ける。 年間を通じてセミナーで具体的な方法に接し、学ぶ。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	論文読解力、作成能力を、実際の論文等で確認し、以下の評価基準で評価する。 (i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	博士論文作成に相当する演習ですので、他の業務とのエフォート管理を行って、積極的に取り組んで下さい。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	メール(inabay@shinshu-u.ac.jp、ktomoki@shinshu-u.ac.jp、keisuke-nagasaki@nkodomo-hsp.jp)または、メールにより予約して面談する。						
(8)授業の形式/Course format	定期的な面談、セミナーでの討論、およびメールにて行う。						